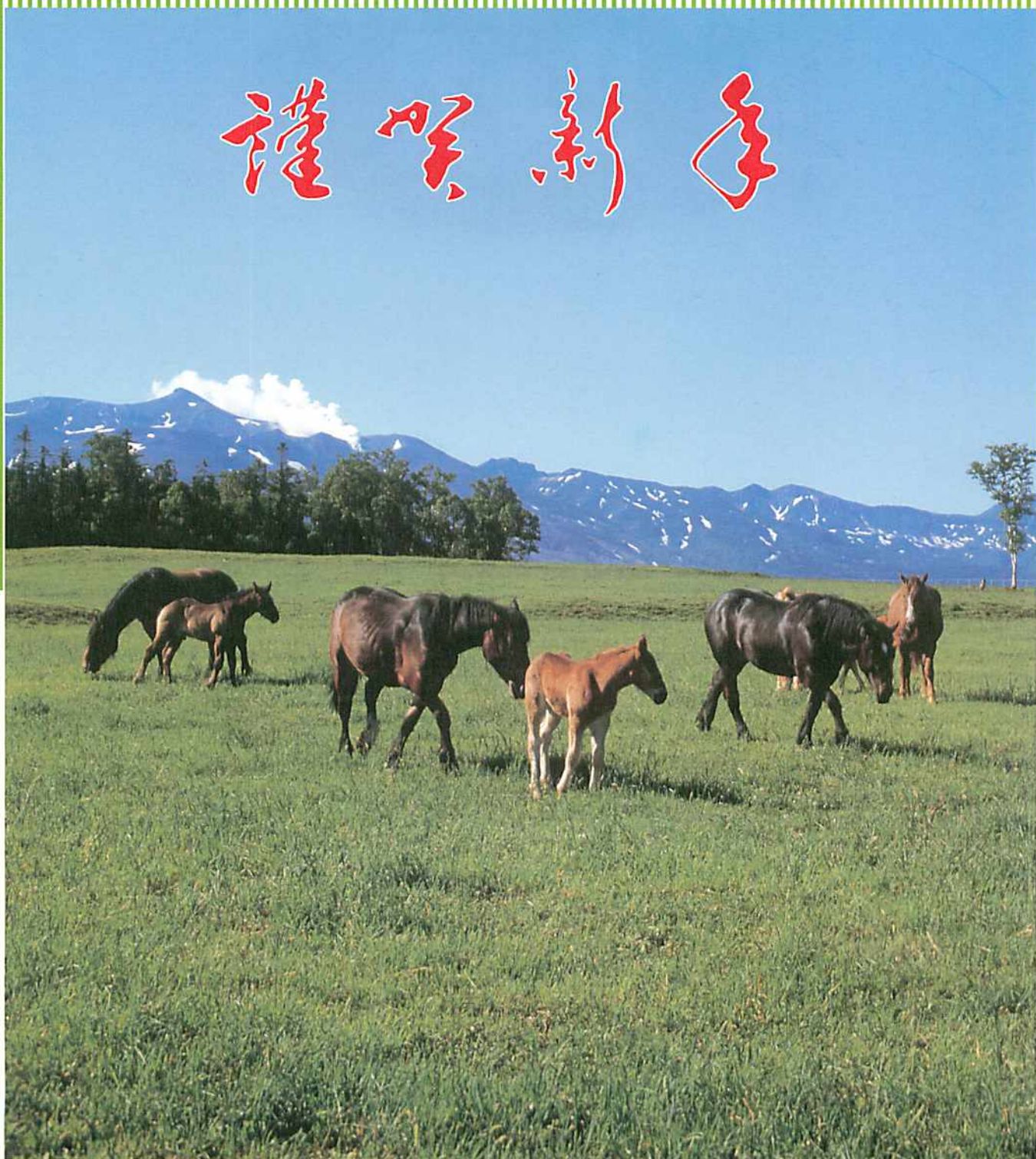


あなたとJAをおすすめ情報誌

なかしべつ

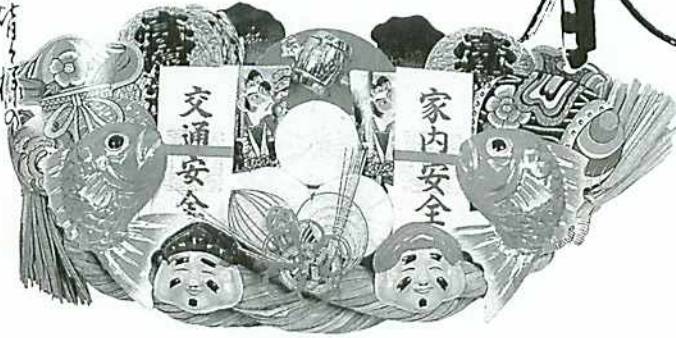
2002
1月
No.325

新年賀詞



迎春

新春を迎え皆々様の
ご多幸を祈ります。皆々と共に
本年も何卒よろしくお祈り致します。
平成十四年元月



中標津町農業協同組合

代表理事組合長	高橋	勝義
副組合長理事	中司	哲雄
営農委員長理事	上村	重光
生産委員長理事	土井	信一
管理購買委員長理事	藤井	美智
理事	川村	清身
理事	長路	清
理事	古澤	翠
理事	中林	雄
代表理事	渡邊	善行
監事	土井	昭男
監事	瀧上	義明

実り豊かな年を願って

中標津町農業協同組合

代表理事組合長

高橋 勝義



明けましておめでとございます。平成十四年の新春を、皆様にはおそろいで迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、日本全体が構造改革を進め長引く不況からの脱出を模索する中で、農業分野では一昨年の口蹄疫や食中毒事件に続き、我国初のBSE（牛海綿状脳症）が確認され、風評被害の拡大による牛肉消費の激減や、肉価の暴落など大きな影響を受けています。

不況の色濃い酪農乳業界は、生産、処理、販売各部門に於いてデフレスパイラルに陥り、収益の悪化に苦しんでいます。これらの事件は一つの工場や農場での事故が、業界全体に計り知れないダメージを与えることを徹底的に示しています。BSEに關しては、原因とされる肉骨粉の輸入など国の関りは極めて大きく、国の責任に於いて一刻も早い原因究明や需要の回復、また経済的損失に対する補償対策など強く望むものです。

早い融雪となった今年の天候については、比較的好天に推移した春耕期から、低温日照不足の暖候期など全般的には少雨低温型で推移しました。病害虫の発生は少ないものの牧草や畑作物の単位生産量で、平年並かそれ以下となりました。

四年目となる大根は、低温による障害が一部心配されましたが、品質、生産量共に前年を上回る実績となりました。市場価格は例年並ですが、製品の歩留りが良かったことや、選果、販売経費の節減も大きく、手取

り収益の増加や基金の積増しに結びつきました。

ビートについては平年並の収量でしたが、病害虫の発生も少なく、根中糖分は過去最高となりました。でん粉価格は低迷から作付面積の減少が続いていますが、当初計画を上回る出荷実績となりました。特に十月後半には、大手ユーザーの中標津産の原料によるでん粉をという要望に応えた、集中出荷を実現することが出来ました。出荷班の皆様のご協力とJA斜里町の特別なご配慮をいただきました事に、心より感謝を申し上げます。次第です。

中標津町から運営移管された原種農場について、管理や運営を従来とは一部変更しましたが、品質も良く収支面でも計画以上のものが達成出来そうです。

畑作振興には、各種事業の導入と共に、事業を実践する生産者の皆様への力強い結集力が必要となります。本年予定している事業について、利用者負担を原則に、関係組織との連携を強化し取組んでまいります。

酪農については、自然体での生産乳量一〇三割を目標に、重点目標として乳質、乳成分向上と併せ推進しておりますが、十二月迄の累計乳量で一〇三割、生菌数ランク一で、前年より約四ポイントの向上が見られます。この事は、組合員の皆様の日々の努力の賜であり、深く敬意を表する次第です。

二年目となる畜舎環境調査に於いて

ても、前年と比べ二位以下の地区に良い意味での変化が見られます。更なる向上を期待しております。

また酪対活動の一つとして、八月、パークゴルフ大会を開催、約五十人の参加により楽しい一時を過ごすことが出来ました。家族全員が参加出来るゲームであり、今年ほもつと盛会にと願っております。

平成十三年度の農協事業については、昨年暮れの地区別懇談会に於いても説明致しましたが、BSEの影響を除けば、当初計画以上の推移をしております。この事は、組合員の皆様への組織に対するご理解とご協力の賜であり、深く感謝を申し上げます。また当組合は、「あるる」を始め、事業を通じて地域住民との結びつきを強めており、地域貢献の一方策として、「食の加工交流体験施設」の設置を検討しております。

BSE発生以来、過剰なマスコミ報道による風評被害の拡大や酪農に關する曲解や極論さらには行政への不信などから、食の安全、安心が大きく揺らいでいます。酪農主産地に生きる我々が、牧草を主体にしつつ高品質な生乳を安定生産することは、国民に対する義務であり、組織としての責任でもあります。迎えた平年が平穩で実り豊かな年でありませう、願ってやみません。十三年度残された期間、役員と共に努力を致しますので特段のご支援をお願いし、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶と致します。

新年を迎え 決意新たに

北海道農業協同組合中央会

会 長 宮田 勇



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年が希望に満ちた年となりますようお祈り申し上げます。昨年の本道における農作物の作柄は、低温や日照不足、季節的な大雨などの影響により、農作物に被害を受け、品質にばらつきが見られたことから総体的に価格が低迷し、農家経済は厳しい状況でありました。また、一昨年の口蹄疫に続き、昨年九月にBSEが発生し、生産者・JAは大きな打撃を被り、さらに消費者に対し不安を与え消費が減退していることは非常に残念なことであり、JAグループ北海道として、原因究明と風評被害の拡大防止に努め、一日も早く信頼回復が図られるよう総力をあげて対処してまいります。

農業を取り巻く情勢は、急増する農畜産物の輸入に伴い、国内農畜産物価格の低迷と景気停滞などにより厳しい状況に直面しております。JAグループ北海道は本道農業、農家経営が安定的に推移するよう政府に

働きかけてまいります。

また、WTO農業交渉については、昨年の十一月にカタールで閣僚会議が開催されました。政府は、農業の多面的機能の重要性を掲げて、日本提案の実現に向けて交渉を展開し、食料安全保障など「非貿易的関心事項」への考慮が閣僚宣言に盛り込まれ、今後の日本提案の実現に向けての足場を確保したところであります。

さてJAグループ北海道は、第二十三回JA北海道大会において、二十一世紀の北海道農業・JAの指針として、「食料・農業・農村基本法の制定を踏まえた新たな北海道農業の展開」と、「共生の大地北海道の構築に向けたJA改革の実践」を決議しました。今年はその実践二年目の年であり、日本の食料供給基地として北海道農業の展開を図るためにも、食料自給率の向上を目指し、さらに消費者への安全・良品質な農畜産物を供給するため、クリーン農業の実践などに取り組んでまいります。

一方、JA経営を取り巻く情勢は、

昨年、農協改革二法案が成立し、「新たな農協金融システムの構築」、「JAグループのガバナンス強化のあり方」などの具体的な実施に向けての取り組みや、本年四月から解禁されるペイオフの対応など、自己責任に基づく経営の健全性・透明性が求められる厳しい環境の中で、JAグループ北海道は、JAにおける資産の自己査定の実施や、自己資本比率向上への取り組みを強化して、JA経営の健全化を目指すとともに、強靱な経営基盤が確立するよう、JA合併の推進を図ってまいります。

最後に、皆様に期待される本会事業の推進に全力で尽くしたいと決意を新たにすべく、本年が皆様に与えてくれる恵みの年であり、豊穡の出来秋を迎えることができ、すよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

北根室地区農業改良普及センター

所 長 長野 宏



新年あけましておめでとうござい
ます。

平成十四年の新春を、ご家族お揃
いで迎えられたことと心よりお喜び
申し上げます。

昨年は融雪期、土壤凍結は平年よ
り早かったことから、牧草の萌芽も
早く、四月・五月の気温は平年より
暖かい日もありましたが、全般に低
めに経過しました。また、降水量・
日照のいずれも平年値より少なく経
過し、一番牧草の生産量は平年を下
回ったものの、収穫作業は順調に進
みました。一番草の生育も順調に推移
しましたが、収穫作業期間が天候不順
であったことから、作業のほ場間差
が見られ全体的に生草収量はやや下
回り、乾物収量は平年を上回しまし
た。

畑作物では、全般に病害虫の発生
も少なく、てん菜では収量も平年並
みからやや不良、糖分については一
八・九割と糖区内でも高い数値を確
保できました。また、でん原馬鈴し
よは株当たりの個数は少なかったた

のの一個重は重く、でん粉価は若干
平年値を低下しましたが、収量は平
年収量以上を確保することが出来ま
した。だいこんも特に大きな障害も
なく、収量・品質も良い結果を得る
ことが出来ました。

また、主生産物である生乳生産に
ついても、昨年は一昨年のような暖
候期に猛暑にならなかったこともあ
り、四月から十一月までの生産量は
前年対比一〇二・八割上回って推移
し、乳質についても前年より向上し
てきました。このことは皆さんの日
常の生産努力による賜と思います。
二十一世紀は食と環境の時代にな
ると言われていますが、まさに、酪
農を取り巻く新しい問題が次々と起
きています。

昨年九月に発生した、牛海綿状脳
症（BSE）は社会的にも大きな問
題になり、対策がいろいろととられ、
と畜の検査体制の充実により異常牛
の焼却処理体制が図られるようにな
り、食卓に上がる牛肉は安全になっ
ていますが、しかし、牛肉の消費の

低迷が続いています。今後は酪農版
「ハサップ」の取組も重要になって
くるのではないのでしょうか。消費者
にたいし安全・安心な食べ物を生産
するのには、一層の配慮が問われる時
代になりました。

環境に配慮した農業の展開は手間
がかかりますが、さけて通れないこ
とであります。

生産面では、外国を意識しながら
生産コスト低下の努力は進めなけれ
ばなりません。現状の置かれている
労働力の過重・施設の問題・後継者
の問題・糞尿対策などを踏まえた中
で、経営の合理化と合わせて意識改
革を図りながら、地域生産システム
の構築が必要ではないでしょうか。

普及センターも地域振興に関わる
支援を、一層強めて参りたいと思っ
ております。

今年が明るい年であり、ご家族皆
様のご健勝とご多幸をお祈り申し上
げて新年のご挨拶といたします。

年頭にあたって

中標津町農協女性部

部長 横田 純子



新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

昨年の年頭には平穩無事を祈ったのですが、過ぎし年には国内外共に余りにも様々な事がありました。この余波が、私達の経営を締めつけないよう願うしかありません。また、広がりすぎた消費者との溝を埋め、早くスムーズな流通になるよう、マスコミなどに対しても片寄った報道にはならないよう、私達女性も安全性のPRは不可欠です。

また、念願の加工交流施設も形を

新年にあたり

中標津町農協青年部

部長 佐々木大輔



新年あけましておめでとうございます。組合員、青年部員の皆様におかれましては、本年が希望に満ちた年になりますようお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、春より天候にも恵まれ畑作、酪農共にまずまず順調な年ではないかと思われましたが、九月に国内初のBSE患者牛が発見され、事態は急変しました。風評被害も手伝い濡れ仔、廃用牛の価格が暴落し、肉牛農家のみならず酪農家にまで大きな影響を与えました。

この様な状況下、我々青年部員は

一人ひとりが今まで以上の「危機感」を持ち、たくさんの方の事を学び、農政や農政、消費者に青年部の声を投げかけていく事が必要だと思えます。また、青年部活動につきましても、部員の皆様には多大なる協力をいただいておりますが、より一層の責任感を持ち、役員任せではなく、自分が青年部を良くするんだと言うくらいの気持ちで参加、協力して欲しいと思います。

最後になりますが、この厳しい時代を乗り切るには、青年部の若さとパワーが必要不可欠です。互いに切磋琢磨しながら、良き青年部員、た

なしつつあります。そこを拠点として、消費者や小学生などの体験交流など、様々な新たな出会いの広がりが生まれることを期待したいと思います。

介護関係ですが、独自の事業などできるよう足元を固めて行きたいと思えます。

家庭・地域・社会の主役であるのが女性です。農家生活の豊かさを、家族の健康と共に守るのも女性です。そして、女性の笑顔・スマイルを忘れずに家庭の太陽となり、今年一年また共に頑張りましょう。

皆様のご健康とご活躍をご祈念申



くましい経営者になる様、頑張りましょう!!

し上げ、新年の挨拶といたします。

平成十三年十二月四日から六日までの日程で、地区別懇談会を実施し、皆様の意見をお聞きしました。

説明した議題は、十月末の農協事業概況、牛海綿状脳症（BSE）の状況、経営構造対策事業、農協改革二法についてです。

金融事業では、貯金残高が昨年より六億二千万円の伸びとなり、百二十二億円の実績となりましたが、この中でも准組合員及び員外の伸びが大きく、地域金融機関としての信頼の増加が反映されたものと思われま

す。

貸付金では、三月に金利負担軽減を図るべく公庫資金の借換を目的とした、農家経営安定資金の新設により、全体で十八億八千万円（うち農林公庫借換九億八千万円、住宅公庫借換三億五千万円、L資金二億七千万円）の増加となりました。

購買事業では、飼料一億二千万円、肥料九千七百万円、燃料七千万円などが増加し、全体では、二億八千万円の増加となりました。また、あるるでは二千万円の増加となっております。

地区別懇談会を終えて

皆様の意見を検討し、反映させてまいります。

す。

販売事業では、乳代（含補給金）で一億二千万円、個体販売一億八千万円の増加となっておりますが、個体販売ではBSE発生後、価格の下落が続いており、今後の影響が心配されます。また、農産物では大根が作付面積の増加と価格の高騰もあって八千五百万円の増、一方、でん粉は販売数量の減少もあって、全体では三億円の増加となっております。

BSEの状況報告の中では、原因究明と発生農家に対する今後の対応

について、国、関係機関などに畜産農家を守るべく対策を、強く要請して行くべきとの意見が多くありました。

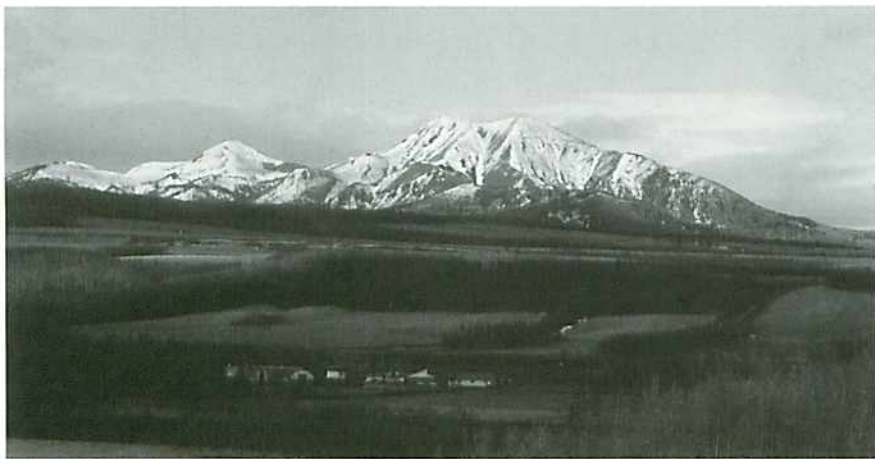
経営構造対策事業では、馬鈴しょでん粉が輸入自由化により先行き不透明な状況から、生食・加工・種子などに用途転換されており、これらの付加価値向上の施設として、畑作農家の利用する大根播種機・ハーベ

スター、馬鈴しょの選別機械・貯蔵施設の農協有による導入計画と、女性部活動の拠点の一つである調理室（総合交流拠点施設）の設置について、説明を致しました。また、総合交流拠点施設は、女性部だけでなく農村部と市街地の交流を促進し、地域の農業・自然・文化など、多様な魅力を住民に提供する施設として設置したいとの説明に対し、必要な施設と考えるが、設置後の利用者の理解なり利用頻度の問題もあるので、充分活用されるよう、管理・運営をお願いしたいとの意見をいただきました。

農協改革二法については、今回農協法の一部が改正になり、信用事業を行なう農協は常勤理事三人以上（うち一人は信用事業専任）を置かなければならなくなりました。

このことについては、農協として今後の役員定数・選出方法などについて検討し、次の懇談会などで方向性をお示ししたいと考えております。

師走の懇談会ということで、何かとご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございました。皆様の貴重な意見を理事会にて検討し、事業に反映させてまいります。



建築廃材を再利用 オガクズ生産プラントが完成しました。

この装置は一次破砕機により原料を大まかに粉砕し、二次破砕機でさらに六^{ミリ}から十^{ミリ}の細かなオガクズに破砕、生産するものです。網の目を換装することでさらにサイズの変化

が付けられ、利用者の要求に 대응されます。処理能力は、一日に十^{トン}前後、約二十[〜]三十台分。写真の製品は、二工程を経て建築廃材を八^{ミリ}サイズに破砕したもので



手の中のオガクズ。原料は、解体した家屋などの建築廃材です

中標津町内で土木工事一式、砂利・砂・黒木販売、一般・産業廃棄物処理業を営む中村興業株式会社(中村義信社長・中標津町東32条北1丁目3番地)は、建築廃材を粉々に砕いてオガクズ化する装置を導入、12月10日に根室支庁生活環境課の検定を受けて本格稼働に向けての準備が整いました。

すが、伐採木、抜根などの生木については一工程目で止めて、簡易パドック材として利用可能することが可能ではないかと町内二牧場で試験中です。

同社の社長に話しを聞くと、「別海・標津・中標津は、一次産業の中でも特に酪農によって支えられているといっても過言ではないが、産業廃棄物を処理する全国どここの市町村を見ても、都会から毎日運ばれてくる廃棄物を処理する上で、コストの肥大と環境負荷という課題に頭を悩ませている。平成元年から許可を取得しようという検討を重ね、今回支庁からGOサインをいただくのにも半年かかった。今後、いっそう望まれることは、廃棄



1 次破砕後に2次破砕機へ投入

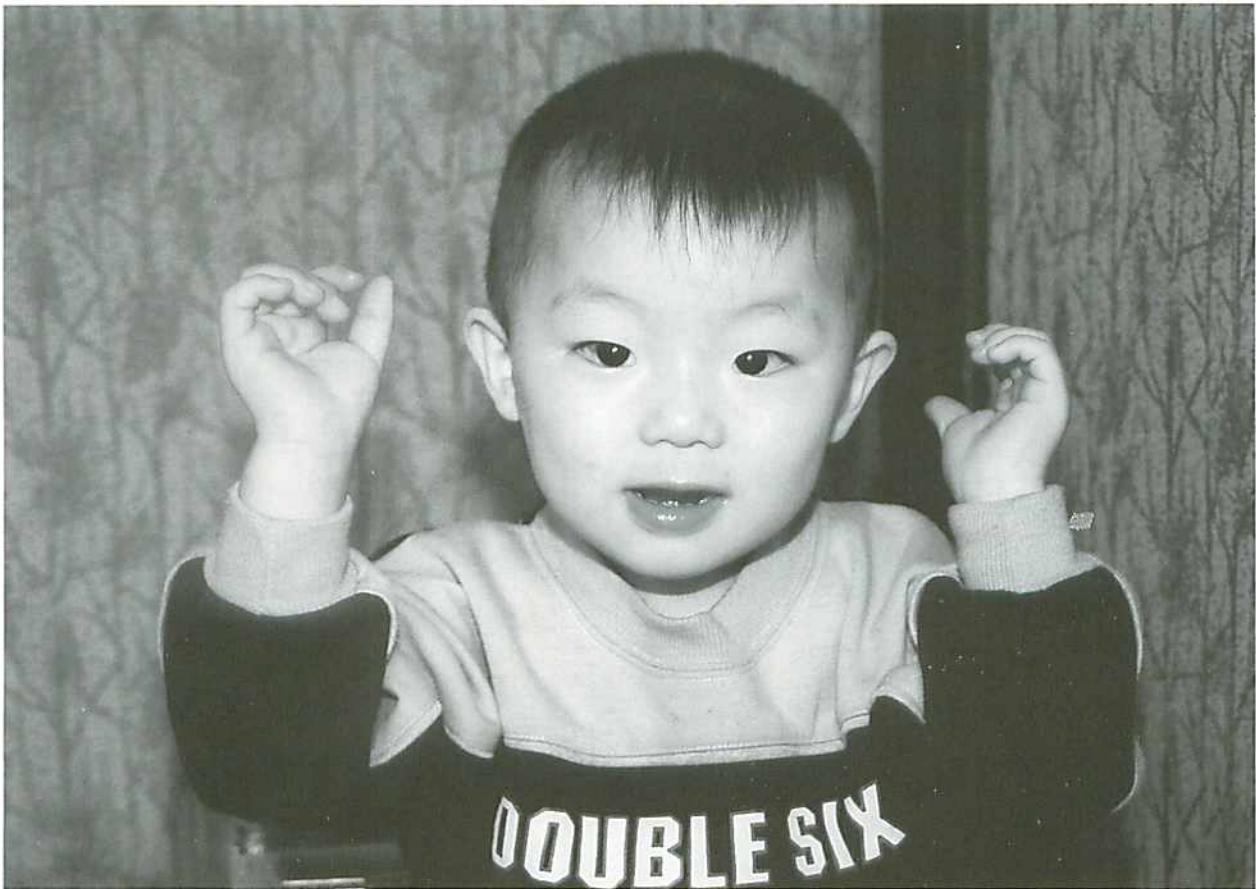


2 次破砕後の完成品

物を捨てて処理が終わるといった図式ではなく、リサイクルの観点に立った廃棄物の再利用化であり、その上で、建築廃材や抜根を牛の敷料や簡易パドック材として再利用してもらえば」と製品の販売に意欲を見せています。

オガクズの利用法は牛の敷料や糞尿処理時の水分調整剤などですが、道東地区では安定した数量の確保と料金とのバランスで利用者が少なく、建築廃材を安定的に受け入れられることが可能なら、安価で販売できる可能性を秘めたこの処理装置の出現により、酪農家の選択肢が広がることが期待されます。

依橋地区 中川将・美穂さん夫妻 長男 泰征くん(二歳十一月)



良く食べて、良く寝て、良く遊ぶ!

あけましておめでとうございます。新年第一号今月の人気者は、元気一杯の男の子、依橋地区・中川将さん宅長男・泰征くんです。

玄関を開けると、満開の笑顔で「こんにちは、どうぞ!」と出迎えてくれた泰征くん。

良く食べて、良く寝て、良く遊ぶといった三原則!?をしつかりクリアしている泰征くんは大の車好き。ミニカーはもとより、自分の体よりも大きな車の乗り物がズラリ! それらに乗って家中動き回ったり、一人で牛舎に行ったりと、とにかく良く動き回っているそうです。それだけにこれまで、病気らしい病気一つせず、風邪なんかも鼻水が出ているかな!? と思っただけの間にか治っていたりと、元気一杯の泰征くんから病気は逃げていってしまうくらいだとか。

朝から晩まで、動いて、しゃべって、時には一人で泣いて、飛び回って、今一番好奇心旺盛で怖いもの知らずだけに、家族中声を揃えて「目が離せない!」と言っていました。そんな泰征くんでも、ちよつとだ



けかなわないのが、最近もらって飼った子犬の「クッキー」。じゃれつかれてさすがの泰征くんも、タジタジになってしまふのだとか。

大きくなった泰征くんをママに想像してもらったら、「動きは機敏だけど、いつも学校の先生から呼び出しがかかるような、なかなかの子になるんじゃないかと」と話してくれました。

パパとママ両方のおじいちゃん、おばあちゃんもご健在の中川家。たくさんのおじいちゃん、おばあちゃん、そしてパパとママと家族中の期待がかかっている泰征くん。

これからも良く食べ、良く寝て、良く遊んで、更に良く学んで立派な大人になってね。皆んなが期待してるよ!

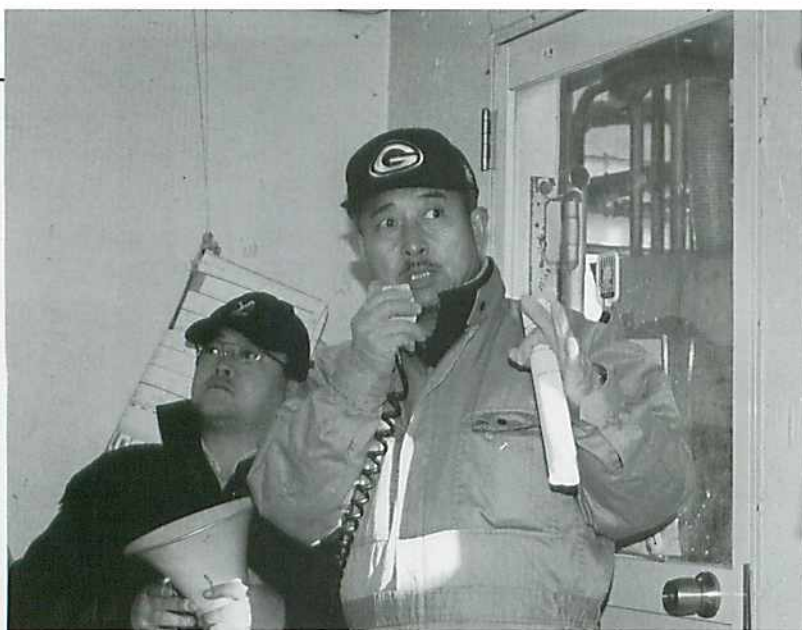
わが家の
人気者

食品の原料を生産しているという 誇りが持てる生産者を目指して。

● 乳質改善セミナー 女性対象現地バーンミーティング

十一月二十八日、二十九日の二日間に
わたり、当農協主催による乳質改善セミ
ナーが開催されました。

講師には大変有名なウイリアムマイナー
研究所・伊藤紘一氏を迎え、初日に協和地



熱弁をふるう伊藤氏

区・長測重樹牧場
にて搾乳などに携わっ
ている女性を重点対
象として、現地バー
ンミーティングが行
なわれ、生菌数・体
細胞数削減対策につ
いて研修しました。

このセミナーは、
「食品の原料を生産
しているという誇り
が持てる生産者を目
指して」をテーマと
して、大々的に企画
され、参加者も予想
をはるかに超える数となりました。

農場・乳牛環境・搾乳システム・バルククーラ
ー・搾乳手順と、全てにおいて乳質を総合的に且
つ根本的に改善するための秘策を、参加者は真剣
に受け止めておりました。

二日間のセミナーで、当農協生乳生産者が一丸
となって研修し、「乳質」といった問題に対して
積極的に取り組み、今後の足がかりになったので
はないでしょうか。

生産者全てが誇りを持って、出荷できる日を期
待したいものです。



適切な介護サービスを 学んで。

JAホームヘルパーフォローアップ研修会

十一月二十九日、高齢者福祉活動
の支援策として、JAホームヘルパ
ーフォローアップ研修会が、農業会
館で開催され、管内の有資格者約三
十人が参加しました。

午前中は「介護保険の現状」をテ
ーマとした講演、ビデオ学習、グル
ープ討議、また、午後からは、ホテ
イメカニクス（立ち上がり・起き上
がり他）、清拭・寝衣交換などの実技
学習が行なわれ、資格取得後、益々
高齢者が増加し、かつ多様化するニ
ーズに対応する適切な介護サービス
を取得するため、参加者はそれぞれ
意欲的に取り組んでおりました。

参加者全員が地域で活躍されるこ
とを期待いたします。





クリスマスの演出に一役。

女性部トールペイント教室

十二月六日、農協大会議室において、女性部トールペイント教室が開催され、二十七人が参加しました。講師には、町内で教室などを開いている木村育子先生と広木美津子先生を招いて、初心者でも簡単にできるサンタクロースの飾り物に挑戦しました。

先生の巧みな筆さばきに、「見れば簡単そうだけど、自分でやると難しいわ」などと、色付けのセンスが問われる作業の合間にもおしゃべりが弾み、また、作品完成後は先生が製作した作品の展示即売会も行なわれ大好評のうちに終了しました。

きつとクリスマスの演出に一役買った作品となったのでは!?

愛情こもったケーキとマッシュマロを作りました。

フレッシュユミズ部会ケーキ作りの教室

十二月十八日、しるべつと調理室において、フレッシュユミズ部会ケーキ作り教室が行なわれ、八人が参加しました。

普及センター西川普及員の指導のもと、フルーツケーキ・ブラウニー・マッシュマロの三つのお菓子作りに挑戦しました。

二人一組となり、共同作業で行なったので思いのほか、作業時間も早く進み、おしゃべりしながら、笑いながらと終始和やかな雰囲気が進められ、参加者それぞれの愛情こもった甘いケーキができ上がりました。

クリスマスに誕生日にと、家族のために作ってみましょうね!



漁師のお母ちゃんの味を習おう!

女性部料理教室



十二月十三日、雪印乳業調理研修室において、女性部料理教室が開催され、十八人が参加しました。

今回のこの教室は他の女性活動との交流を目的として、野付漁協婦人部から役員三人をお招きし、家庭で簡単にできる海産物料理を教わりました。メニューは、鮭のミニチャンちゃん焼き・鮭のマリネ・ホタテご飯・あさり汁と、日常食卓で良く目にする食材を使っている、本場漁師のお母ちゃんの味をフルコースで!?習いました。

でき上がった料理を食べながらの交流会は、早くも来年の料理教室に再度講師を依頼したり、他のメニューのコツを聞いたり、実に内容の濃い料理教室となっていました。

また、野付漁協婦人部員の方々からも「この機会に農業と漁業の情報交換・交流の場を今後も持ちましょう」と話があり、女性活動にまた一つ新しい風が吹いたようですね。

「誇りと自覚を持って、 中標津酪農の発展に努める」 をメッセージに。」

全道JA青年部協議会創立五十周年記念式典&第五十回全道JA青年部大会が十二月六日、七日グリーンホテル札幌を会場に開催されました。



全道JA青年部協議会創立50周年記念式典& 第50回全道JA青年部大会に参加して



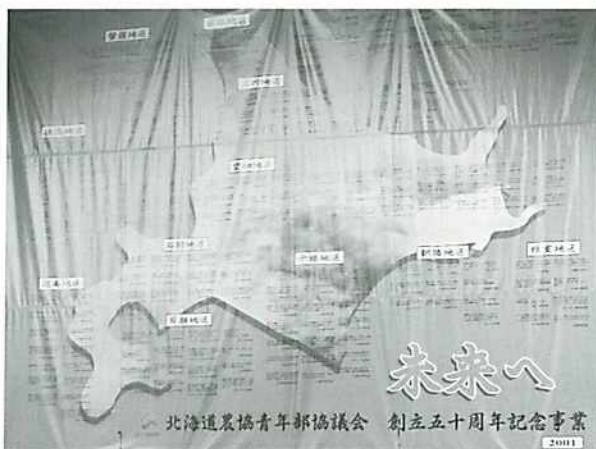
式典では、歴代の会長に感謝状を贈呈した後、メッセージフラッグのお披露目が行なわれ、当青年部は「日本の食を支える農業青年としての誇りと自覚を持ち、中標津酪農の発展に努める」をメッセージに掲げました。

また、記念講演では、作家の灰谷健次郎氏が「いのち このいとときもの」のテーマで、淡路島で自給自足の生活をしてきた頃の話しや、小学校教師をしていた頃の話しをされました。特に教師をしていた頃は、子供の表現力にはとても感心させられたそうです。

記念講演の後、創立五十周年記念祝賀会が行なわれ、初日の日程を終了しました。

二日目は、実績発表大会や青年の

青年部副部長 鷺見 健



主張などが行なわれ、根室地区からはJA計根別青年部の影山智氏が、「輝きのある地域作りを目指して」と題したテーマで発表をしました。時間がなかったので、実績発表や青年の主張は聞くことが出来ず残念でした。

今回初めて参加させてもらいましたが、とても良い勉強になると思えました。次回からは若い部員もどんどん参加してもらいたいものです。

賞品がかかったの 余興やゲームで、 楽しいひと時。

●青年部反省会 丹羽 隆司



十二月十日、青年部は今年最後の行事、反省会を寿宴で行ないました。
青年部員の他、若い農協職員の方々も参加して、今年一年を振り返りました。
始めに、佐々木部長の挨拶に続き、西垣副部長の乾杯の音頭で反省会がスタート。皆、ほろ酔い気分になったところでレクリエーション委員会が余興を行ない、ジャンケンゲーム・ピンゴゲームなど少し地味な余興でしたが、賞品がかかっているということで、まずまずの盛り上がり。最後は百円ジャンケン三連戦（三戦目は有志による千円ジャンケン）で、楽しい一時を過ごしました。
反省会の締めは、驚見副部長の一本締めで終了しました。



今一度、搾乳機器、 手順などを見直して みませんか。

●乳質改善セミナー 中本 信幸



十一月二十九日、トーヨーグランドホテルにおいて多数の出席者で行なわれましたが、正直言ってこういう講演会に出席するのは、初めてに近いくらいだったので、始めのうちは多少の緊張感がありました。しかし、伊藤氏の話は、肩苦しいものではなく溶け込みやすい内容でした。
普段の搾乳作業の一つひとつをチェックしていれば、そんなに大変なことをしなくても、乳質の改善につながるんだなと思いました。
この日、開陽地区は訳あって出席者が少なく、来年の乳質地区別一位の座が危ういかな？なんて思いました。チャンスですよ！！
最近、狂牛病の影響で、肉の価格が最悪な状態となっています。今一度、クリーンな「牛乳」を一キロでも多く出荷出来るように、搾乳機器、手順などを見直してみませんか？



秋晴れの中、 楽しくプレー しました。

● 熟年会親睦ミルクボール大会



平成十三年度熟年会親睦ミルクボール大会が十一月八日、六十三人(男性二十九人、女性三十四人)が参加し、町森林公園ミルクボール場で開催されました。

当日は秋晴れの中、九時三十分より受付を開始し、藤井大会長の挨拶に続き、名越氏が競技の説明を行いました。午前十時競技開始となりました。欠席者四人、新たに参加した方四人、計六十三人になりましたが、急遽メンバーの組合せを変更するなど慌ただしいスタートとなりましたが、ホールインワンが五人出るなど和気あいあいの中、怪我人もなく正午過ぎ成績発表、表彰式を行ない無事終了しました。



日頃の練習の成果 を発揮し、白熱した プレーが続出!

● 熟年会親睦ゲートボール大会



十二月七日(金)、熟年会親睦ゲートボール大会が、町シルバースポーツセンターで開催されました。

午前八時五十分より受付及びチーム編成の抽選を行ない、藤井大会長の挨拶に続き、安江審判長より競技上の注意説明があり、九時二十分競技を開始しました。

当初五十八人が参加予定でしたが、六人欠席し五十二人の参加者になり、地区混合十チームに分かれ、二コートを併用し十試合が行なわれ、熱戦の結果、遠藤幸吉さんチームが四戦全勝で優勝に輝き、準優勝には三勝一敗で宮脇正治さんチーム、三位には同じく三勝一敗(得失点差)で大西千代子さんチームと坂本弘さんチームがジャンケンで勝敗を競った結果、大西千代子さんチームとなりました。

午前の部五試合、午後の部五試合、皆さん疲れた様子もなく参加者全員怪我無く、午後三時二十分閉会式(成績発表・表彰式)を行ない終了しました。

第八回理事会の経過

開催日時 平成十三年十二月三日

〈決議事項〉

一、平成十三年度九月末の定例自治
監査について

二、共済規程の一部変更について

三、共済規程附属書自動車損害賠償

責任共済規程の一部変更について

四、役員報酬審議会委員の選任につ

いて

五、人事規程の一部改正について

六、桜ヶ丘給油所タイヤバランスア

のリース契約について

七、資産評価基準(利用組合負担金)

の見直しについて

八、各資金の借入申込について

九、平成十二年産共計でん粉の精算

について

十、平成十三年度経営構造対策事業
の実施について

十一、農協有バルククーラー等貸付

事業の固定資産取得について

十二、肉牛センター固定資産の処分

について

〈協議事項〉

一、十月中間協議と再協議者の対

応について

二、農協改革二法の概要について

三、員外監事について

〈報告事項〉

一、平成十三年産でん原馬鈴しょ出

荷実績並びに中斜里でん粉工場の

操業実績について

二、平成十三年産大根生産の販売実

績について

三、平成十三年産生食・加工・種子

馬鈴しょの受入実績について

四、平成十三年産でん菜の出荷状況

について

五、でん原馬鈴しょ堆積場の設置状

況について

六、中斜里でん粉工場運営協議会の

消流地視察研修について

七、平成十四年度生産振興総合対策

事業の取り組みについて

八、JA中標津乳質改善セミナーの

開催について

九、個体識別BSE緊急対策につ

いて

十、中標津牛乳の販売状況について

十一、生乳生産状況について

十二、乳牛・肉牛市場価格の動向に

ついて

十三、家畜改良課九月末の状況につ

いて

12月の組合日誌

- 1日 第2回女性部50周年記念
事業準備委員会
営農計画書作成～22日ま
で
- 3日 第8回理事会
同志会選考委員会
- 4日 地区別懇談会 俣落、第
二俣落
- 5日 地区別懇談会 開陽、武
佐、中標津
- 6日 地区別懇談会 俵橋、当
幌
女性部ツールペイント教
室
生食加工部役員会
- 7日 緑肥事業説明会
種子部会全体会議
- 12日 生食加工馬鈴しょ部会
- 15日 畑対役員会
馬事同志会役員会
- 17日 食品加工部会加工研修会
道営草地整備事業施設打
ち合わせ
- 19日 第9回青年部役員会
- 20日 女性部役員支部長会議
同志会選考委員会
- 21日 役職員忘年会
- 29日 業務納め

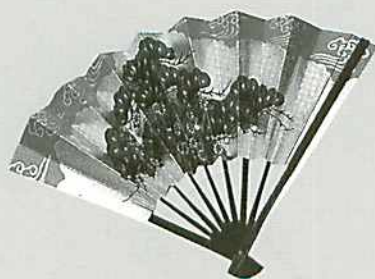
編集後記

新年あけましておめでとござ
います。

組合員皆様におかれましては、
新年をご家族お揃いでお過ごし
のことと思います。

昨年は、九月に生産者に多大
な打撃と不安を与えたBSEが
発生しました。このことは、早
急に原因究明と信頼回復が図ら
れることを願わずにはいられま
せん。

新年を迎え組合だより「なか
しべつ」も、組合員皆様に喜ん
でいただける紙面作りに新たな
気持ちで取り組んでまいります
ので、より一層のご協力を賜り
ますようお願い致します。



しめ飾り

しめ縄は、家の入り口などに縄を飾って、そこから内は神さまの訪れている神聖な場所であることを示すものです。

今ではしめ縄そのものよりも、しめ飾りを飾る家庭が多くなりました。しめ飾りには、細いしめ縄を丸くして簡単な飾りをつけただけの輪飾りや、逆に豪華な飾りをたくさんつけた玉飾りと呼ばれるものなどいろいろあります。

最近では、お正月リースをしめ飾りとして用いる人も増えてきました。

